令和７年度　上半期

西原村工業用水道事業
業　務　状　況　説　明　書

（令和７年４月１日から令和７年９月３０日まで）

西原村工業用水道事業

1　令和７年度上半期の状況

（１）事業の概要

ア 業務

本年度の上半期の業務状況は、給水箇所数においては7事業所8ヶ所であり、前年度末からの増減はありません。各企業毎の契約水量においては昨年度と同様であり、8ヶ所での契約日量計836㎥に変更はありませんでした。配水池からの配水量及び各企業への給水量を前年度同期と比較してみると、配水量及び給水量共に増加しています。なお給水量については、一日平均として128㎥の増加となっています。今後も各企業への給水量について注視していきます。

既存鳥子工業団地内企業より設備増強による契約水量増の要望があり、現在の配水能力を上回る必要水量が見込まれ、昨年度から今年度上半期にかけて新たな水源の電気探査及び井戸の掘削･揚水試験を行いました。

（9月末現在）

区分＼年度	令和７年度 上半期	令和６年度 上半期	比較 増減	比較 増減率
給水箇所数	8 カ所	8 カ所	―	―
上半期配水量	136,306 ㎥	114,155 ㎥	22,151 ㎥	19.40 %
上半期給水量	131,042 ㎥	108,067 ㎥	22,975 ㎥	21.26 %
月平均給水量	21,840 ㎥	18,011 ㎥	3,829 ㎥	21.26 %
日平均給水量	728 ㎥	600 ㎥	128 ㎥	21.33 %
上半期有収率	96.14 %	94.67 %	―	1.47

※月平均給水量は、上半期給水量を6で除したもの。日平均給水量は、月平均給水量を30で除したもの。

イ 建設改良事業

令和７年度の当初予算において、建設改良事業では鳥子地区新工業団地の造成事業に伴い、造成予定地への既存鳥子工業団地から工業用水を配水するため、距離約960m、口径Φ150㎜における本管布設のための工事費85,800千円を計上しました。なお、工事の発注については造成等の進捗状況により上半期では未発注となっています。

また、令和５年度からの建設改良繰越により、既存鳥子工業団地の南側付近に井戸の掘削･揚水試験までの「さく井工事」を行い、その結果取水可と判断されたため、今後は取水･配水施設整備にむけて既存企業及び新規参入企業の動向を見ながら遅滞なく施設整備を進めます。

（２）経理の状況（税込）

上半期における経理の状況は、次のとおりです。なお、9月議会臨時会において、補正予算（第1号）が可決されました。なお、補正内容は収益的収入に240千円の減額、同支出に1,049千円の減額補正となっています。

ア 収益的収入及び支出（9月30日現在）

（単位：千円）

収入 区分	予算現額	執行額	執行率	支出 区分	予算現額	執行額	執行率
事業収益	24,906	9,961	39.99 %	事業費用	23,379	5,306	22.70 %
営業収益	15,105	6,284	41.60 %	営業費用	20,051	5,306	26.46 %
営業外収益	9,800	3,677	37.52 %	営業外費用	2,326	826	35.51 %
特別利益	1	0	0.00 %	特別損失	2	0	0.00 %
				予備費	1,000	0	0.00 %

※上記については、端数処理により必ずしも合計額と一致しない場合があります。

※固定資産減価償却費については、上半期分には計上していない。

イ 資本的収入及び支出（9月30日現在）

（単位：千円）

収入 区分	予算現額	執行額	執行率	支出 区分	予算現額	執行額	執行率
資本的収入	70,000	0	―	資本的支出	85,800	11,748	13.69 %
企業債	70,000	0	―	建設改良費	85,800	11,748	13.69 %
工事負担金	0	0	―	固定資産	0	0	―
補助金	0	0	―	企業債償還金	0	0	―
負担金	0	0	―				

※上記については、端数処理により必ずしも合計額と一致しない場合があります。